2020年1月20日発行

発行：認定NPO法人 日本セラピューティック・ケア協会　発行者：秋吉美千代　印刷：ビーグ有限会社

手と手でつながる笑顔 ～セラピューティック・ケアの子育て支援～

理事長　秋吉 美千代

昨今、「アウェイ育児」「ワンオペ育児」「孤育て」など、子育て中の母親の孤立を表す言葉を耳にするようになりました。子どものいる世帯の核家族の割合が8割を超え、地域のつながりも希薄になっている今、児童虐待やネグレクトなど痛ましい事件の背景に、母親の置かれている子育て環境があることは間違いないでしょう。

当協会では2009年より、子育て支援にも取り組んできました。そのなかで特に重視しているのが、保護者の心のケアです。子どもの心をケアするためにはまず、保護者の心のケアが欠かせないと当協会ではとらえています。そのために子育て支援ワークショップは、保護者の心のケアである「夫婦・家族のふれあいマッサージ（ファミリーバージョン）」と親子の絆を深める「親子のふれあいマッサージ（インファントセラピー）」の両方で構成されています。

「ファミリーバージョン」は家族が互いにふれあうことにより“愛情ホルモン”と呼ばれるオキシトシンが分泌され、その働きでストレスや不安が軽減し、互いの愛情や信頼が深まるため、「情緒的サポート」（受けとめ、いたわってもらう）の役割を果たします。

「インファントセラピー」は、セラピューティック・ケアの理論とスキルを元に、助産師と共に考案した親子のふれあいコミュニケーションです。オイル等を使わないのでアレルギーや費用の心配がなく、洋服の上から、いつでもどこでも気軽にできる安心安全なスキンシップであること、そのため対象が乳幼児～小学校低学年の子どもと年齢が幅広いことが特徴です。ふれられる方だけでなく、ふれる方にも分泌されるというオキシトシンの効果により、子どもを優しくなでることで、保護者自身のケアにもつながります。

2018年度は、福岡・佐賀・東京・神奈川・埼玉・栃木・静岡・大阪・北海道で25回の子育て支援ワークショップを開催し、487名の親子に参加していただきました。同時に、保育の専門職の方を主な対象に、インファントセラピストの養成にも取り組んでいます。

また2015年からは、いくつかの短期大学の保育福祉専攻科でも授業に取り入れられました。歩みはゆっくりですが、着実に子育て支援の現場で活用され始めています。

今後は、産前・産後の母親のケアにも力を入れていきたいと考えています。生老病死のすべての場面にセラピューティック・ケアで手のぬくもりを届けたいというのが、私の願いです。

特集 2019年セラピューティック・ケアの子育て支援事業

佐賀　宮﨑 洋子

唐津のワークショップは、NPO法人唐津市子育て情報支援センター様のご理解を頂き、センター内で2か月に1回のペースで開催しております。

スタッフの方にも参加して頂き、ママ達の笑顔にたくさん出会えるように、自己紹介の場面では「大切にしている言葉」や「子供さんに聞かせる子守唄は？」など、自分らしさを引き出せるようにしています。ケアを中心ににぎやかで、笑い声がはじけるワークショップでした。

北海道【10月26日】　星　美紀

苫小牧市社会福祉協議会ボランティアセンター主催の「ボラセン・フェスティバル」というイベントに初出展。社協のご配慮、仲間の協力、本部と支部の支えによりスムーズに行なうことができました。

午前、午後1本ずつ、通して保護者3名、子ども5名にささやかなワークショップを展開し、温かい時間が流れました。保護者様からは、「子どもとゆっくりふれ合えて良い時間だった。うれしかった。やってあげようと思う」と感想をいただきました。お母さんのお膝を取り合いっこする姉妹、マッサージでにこにこ笑顔満面、じーっとお母さんの手の感触を感じている様子、固い表情から柔らかく溶ける表情の変化を目の当たりにして、改めて手の温もりのパワー、ふれ合うことで生まれる安心感を確信した1日でした。

福岡【7月25日】　鶴田 惠子

エフコープさまとコラボして、朝倉で「防災ワークショップ」を開催しました。

会場が近づくと、道路わきは水害から1年を経過しようとしていることが信じられない程の姿を現してきました。復旧には10年の月日を要するそうです。

緊張感とともに到着しましたが、小高い丘の廃校となった小学校はほっと和ませてくれました。

まず保護者に施術を行い和んでいただき、その後は年齢別にインファントセラピーとファミリーバージョンに分かれて行いました。次第に子ども同士・親同士と打ち解けながら「火気不使用防災クッキング」にも参加。心もお腹も満たした後は、腰やレッグケアの体験。また被災時には行動が制限されがちなストレスケアとして身近なティッシュを使った遊びに笑顔が溢れました。

大阪【9月10日】　藤原 和子

大阪市地域子育て支援拠点「豊崎つどいの広場ぐぅぐぅ」でワークショップを開催しました。参加された親子4組は、生後3か月の親子3組と2歳の親子1組でした。

まず若いお母さんの育児の疲れを癒していただくためにネック&ショルダーケアを体験してもらいました。次に、特に腰がつらいとのことだったので、腰のケアは歌を歌いながら和やかな雰囲気で施術しました。インファントセラピーの間、2歳のお子様は好奇心旺盛で、お部屋にあるおもちゃで遊んでいましたが、途中で自分の足指をくるくるピーとしている姿は微笑ましく感動しました。

施術後は「体が温かくなって気持ちよかった」「赤ちゃんにマッサージするとリラックスした表情に変わってうれしかった」「家族と癒しの時間を共有できそうです」などの感想をいただきました。

インファントセラピスト資格更新セミナー　(株)ソラスト保育事業部　米内 聖子さん

9月25日、今年度1回目のインファントセラピスト更新セミナーが行われました。私たち（株）ソラストの保育事業部では、2015年度からインファントセラピストの養成を始め、現在では、16か所の保育園で50名以上が活躍しており、毎年仲間が増えています。実施の活動としては、公開保育や運営委員会などで、子どもや保護者、地域の方々に向けてケアを実施しており、大変好評です。夫婦で参加された方が笑顔でお互いにふれ合う姿や、家に帰って早速やってみましたという話を聞くと、家族のスキンシップや情緒的サポートにも役立っているのではないかと、やりがいを感じます。

更新セミナーでは、ハンド&アームケアを新たに学ぶことができ、ケアのバリエーションも増えましたので、今後もインファントセラピーに取り組んでいきたいと思います。

被災地支援

佐賀 武雄お見舞いボランティア

北川 美子

2019年8月27日、活発な梅雨前線の影響で大雨特別警報が発令されました。被害は想像以上で被害総数は1500件以上、帰宅困難による避難者数は一時400名を超えたそうです。今回の被災から約1か月が経過した10月10日、お見舞いボランティアに伺いました。当日は秋吉理事長と会員7名で参加。午前中は「高齢者生きがいデイサービス」で約20名に施術を行いました。利用者様は「気持ち良かー」と喜ばれ、「今日のデイサービスはお休みせんでよかった」などの言葉もいただきました。午後は橘地区老人会の方々約60名に施術を行うことができました。

ケアを行うことにより、高齢者のお顔が穏やかな笑顔になり「また来てください」「今度はいつ頃に来られますか」などのお声をいただきました。

千葉

【2019年11月15日】訪問施設3か所、施術人数56名
【2019年11月19日】訪問施設3か所、施術人数58名

島田 貴子

千葉県は、昨年台風・暴風雨に見舞われ大きな被害を受けました。復旧が進む中、2回にわたり、南房総地へボランティアに行ってまいりました。利用者、入居者、施設長、介護ヘルパー、調理スタッフなど多くの皆様に、和やかにケアをさせていただきました。中には別れ際に涙ぐむ方もいらっしゃいました。

台風の爪痕が残る中、ほんのひととき皆様の気持ちがゆるんでいただけたら嬉しく思います。千葉県は関東地区で唯一支部がないのですが、今回は都内の会員の皆様も応援して下さり、ボランティアを行うことができました。楽しく充実した二日間を過ごすことができました。ありがとうございました。

北海道 早来『にこにこサロン』開催

嘉信美智子

2019年初頭、支部で「被災地へ手のぬくもりを届けに行きましょう」と声が上がりました。私の住む早来を気にかけてくださり「わざわざ遠い早来でやってくれるの?」と、嬉しく思いました。施術を体験して下さる方が大勢いたらいいなぁと思い、自分で広報活動を行い、安平町役場、社会福祉協議会へお伝えをしたところ、社協だよりにサロン開催の記事を掲載していただくことが出来ました。4月、初めてのサロンを開催。メンバーの声掛けもあり、町民の方々が次々に訪問して下さいました。ある女性は施術後に地震からの辛かった日々を涙ながらにお話しして下さいました。手のあたたかさが伝わり、心がホッとされたのだと感じた瞬間でした。サロンは毎月第4木曜に開催しています。たったお一人の訪問であってもゆっくりと細く長く進んでいけたらと思っています。

全レク大会で表彰していただきました

【2019年9月13日】 秋吉 美千代

福岡県レクリエーション協会からご推薦を受け9月13日、第73回全国レクリエーション大会in宮城にて、公益財団法人 日本レクリエーション協会より、個人功労者として表彰していただきました。ただし、私はあくまでもセラピューティック・ケア協会の一会員として出席しましたので、皆様の代表として、記念の銀杯を頂きました。

心身の健康と絆の構築を目指し、笑顔いっぱい、優しさいっぱいというテーマは当協会とも共通しています。これからも、手のぬくもりで笑顔に出会う喜びを糧にして、レクリエーション協会と手を取り合い、進んで行きたいと思います。

20周年記念事業 台湾福祉交流ツアー

【2019年10月17日~19日】

福岡・東京・静岡・三重から12名の協会会員が参加し、台中を訪問しました。初日は、当協会の施設セラピストを導入していただいている株式会社ウェルフェアネットさまと合同で、設立25年になる福祉財団「天主教暁明社会福祉基金会」へ。施設見学とともに、介護予防を目的に取り組まれているさまざまな事業をご紹介いただきました。

夜は、協会会員・ウェルフェアネットの皆さま・台湾の5名の方を交えての交流会。台湾の皆さまは高齢者福祉の専門職で、日本に来られてセラピューティック・ケア　セラピストの資格も取られた方々です。翌日は、68年の歴史を持つ「恵華幼稚園」を訪問。見学後にはインファントセラピーのワークショップもさせていただき、学びの多い3日間でした。

台湾の講師である林雅文さんには、研修のコーディネートなど大変お世話になりました。また秋吉理事長は台中滞在を延長し、国立中興大學で開催された国際フォーラム「2019福祉ビジネスと観光産業経営国際連携会議」に出席されました。

学生インターンシップを受け入れました

【2019年9月9日~13日】

協会での初めての試みとして、日本経済大学（福岡）の学生さんをインターンシップで本事務所に受け入れました。期間中はSNSでの発信や、会員さんへの郵便物の発送作業のお手伝い、会議や講習会への参加など、認定NPO法人の広報と運営を体験していただきました。

連載

各地区たより ～ 長崎 ～

日本全国にいる会員の皆さんの活動や思いを知り、
会員同士のつながりを感じるための連載企画です。

長崎からも輪を広めていきます！

谷川 恭子

長崎支部は2017年秋、秋吉理事長が来崎を機に長崎の会員を繋いでくださり、2018年の春に誕生したばかりです。2か月に一度のペースで会員の交流と中尾講師によるスキルアップを開催しています。談笑しながらの交流会はとても充実した時間です。

介護施設や緩和ケア病院での活動を行うなか、緩和ケア病院では、患者さんのご家族にも施術を受けていただいています。病棟の看護師さんから「セラピューティック・ケアで、患者さんやご家族にとても心地良い時間があるということが有り難いです」といただきました。

ある会員は入院中のお母様、お嫁さん、お孫さんに施術し、心身のリラックス効果を実感していると報告がありました。セラピューティック・ケアで４世代が繋がり合えるとは嬉しい驚きでした。

地域にも家庭にも「手のぬくもり」から「心のぬくもり」が体感できるセラピューティック・ケア!!　長崎でも自然なかたちで浸透させていきたいと思っています。

インストラクター受講生レポート

インストラクターの資格を得るために、実習後提出されたレポートです。

S.Mさん（北九州市）

私自身はあまり人に体をふれられたくない方だったのですが、受講して、ふれることで親近感がわくことが分かりました。セラピューティック・ケアでは、優しくなでることが主ですので、特にお年寄りや病後の方にはとても効果的だと思います。また施術の前に目と目を合わせて自己紹介することで相手の方に安心感を与えると思いますのでとっても重要だと思っています。

優しく体にふれることで相手に安心感を与え、セラピューティック・ケア施術後は、自分自身も温かい気持ちになれることは、とても素晴らしいことだと思います。これからもできる限り笑顔を作ってあげたいです。

当協会へのご寄附は税控除の対象となります。

1. 個人によるご寄附の場合

所得税の算定において特定寄附金とみなされ、寄附金控除の対象となります。所得控除もしくは税額控除のいずれか、メリットが大きい方を選ぶことができます。

①税額控除：(寄附金額合計-2,000円) ×40%が所得税から控除されます。

②所得控除：寄附金額合計-2,000円が所得から控除されます。

※控除を受けるためには、所轄税務署にて確定申告を行なってください。

2. 法人によるご寄附の場合

一般寄附の損金算入限度額とは別に、特定公益増進法人に対する寄附金の額と合わせて、特別損金算入限度額の範囲内で損金算入が認められます。

※損金算入するためには、寄附金査収日を含む事業年度の税務申告書提出の際、当協会の発行する所定の領収書を添付し、申告書をご提出ください。

3. 相続人等による相続財産等のご寄附の場合

取得した財産を相続税の申告期限までに当協会に寄附された場合、寄附をした財産の価額は相続税の課税価格の計算の基礎に算入されません。

※控除を受けるためには、相続税の申告書提出の際、当協会の発行する所定の領収書を添付し、申告書をご提出ください。

【お振込先】
寄附金専用口座
ゆうちょ銀行 01770-6-166454
（特非）日本セラピューティック・ケア協会

認定NPO法人
日本セラピューティック・ケア協会
〒818-0125　福岡県太宰府市五条2-6-1-202

TEL:092-928-1546
FAX:092-555-9401
E-mail:info@therapy-care.net
URL:http://therapy-care.net